

ゼロ年代を生きるすべての若者たちへ――。

ケンタと ジュンと カヨちゃんの国

第60回ベルリン国際映画祭フォーラム部門正式招待
第34回香港国際映画祭正式招待
第10回東京フィルメックス特別招待

あふれる賛辞にこたえて、
アンコール上映緊急決定!!

激賞の声が鳴り止まない、
2010年最大の衝撃作。

エンディングテーマ:「私たちの望むものは」
(作詞・作曲:岡林信康 歌:阿部芙蓉美)

監督・脚本:

大森立嗣

松田翔太

高良健吾

安藤サクラ

かつてない閉塞感に立ち向かうゼロ年代の若者たちが、
怒りを忘れた日本社会へと大きな問いを投げかける。
このままでは若者たちは生きられない——。

こんな映画が観たかった
こんな映画にでたかった
瑛太 (俳優)

救いもないし希望もない。でもどうしてだろう、
もし多くの人がこの映画を観たら、
世界が今よりほんの少し、
ましなものになるように思うのだ。
角田光代 (小説家)

カヨちゃんの表情、声、一挙一動が、
この映画の光であり、
何もかも包む闇のようでもある。
最後の最後に、粉塵や血しぶきよりも激しく、
スクリーンを突き破って、私の皮膚も突き破っていったのは、
彼女のまなざしそのものでした。

青山七恵 (小説家)

カヨちゃんが口の中の血を吐き捨てて
眼前に広がる荒涼を見据えたように、
俺達はそれぞれの眼前に広がる、
それぞれの荒涼を見据える。
それが生きる事の全てだ。と、俺は思う。

吉野寿 (eastern youth / ミュージシャン)

青春にも種類がある。
この青春は痛い。
この青春は重い。
この青春は辛い。
未来を選べない
青春もあるのかもしれない。
そこでもがく若者たちもいる。
凄い青春映画です。これは。
鈴木おさむ (放送作家)

ケンタと ジュンと カヨちゃんの国

物語は2010年のリアリティをなぞりつつ疾走する。
それは不安定雇用と経済不況と若年失業に悩む
この国の姿だ。
この国にとどまり続けるしかない
私たちの現実そのものだ。
小熊英二 (歴史社会学者)

監督・脚本: 大森立嗣

出演: 松田翔太 / 高良健吾 / 安藤サクラ / 宮崎将 / 柄本佑 / 洞口依子 / 多部未華子 / 美保純 / 山本政志
新井浩文 / 小林薫 / 柄本明 エンディングテーマ: 阿部芙蓉美「私たちの望むものは」(フォーライフ ミュージックエンタテインメント)

監督・脚本: 大森立嗣 / 撮影: 大塚亮 / 録音: 加藤大和 / 美術: 杉本亮 / 編集: 普嶋信一 / 音楽: 大友良英 / 記録: 杉田真一 / 衣裳: 伊賀大介 / ヘアメイク: 徳田芳昌 /
装飾: 渡辺大智 / 製作: 「ケンタとジュンとカヨちゃんの国」製作委員会(フィルムメイカース / ポニーキャニオン / 日活 / シグロ / 衛星劇場 / 角川書店 /
ミュージック・オン・ティーヴィ / ヨアケ / リトルモア) / 製作プロダクション: リトルモア, フィルムメイカース /
企画: 菊地美世志, 田中正, 孫家邦 / プロデューサー: 土井智生, 吉村知己, 中野朝子 / 配給: リトルモア / 宣伝: ヨアケ
©2010「ケンタとジュンとカヨちゃんの国」製作委員会 (2010 / 日本 / 35mm / 131分 / アメリカンカンピスタ / カラー / DTSステレオ) www.kjk-movie.jp

吉祥寺バウスシアター

中央口・サンロード街・西友先左側 0422-22-3555 www.baustheater.com

9月4日(土)~17日(金)

連日20:45より1回上映

★初日の9/4(土)は上映前に
大森立嗣監督と出演者の宮崎将さんによる舞台挨拶あり!(予告篇なし)

渋谷ユーロスペース

文化村前交差点左折 03-3461-0211 www.eurospace.co.jp

9月25日(土)~10月8日(金)

連日21:00より1回上映

※予告篇なし※9月27日(月)、28日(火)は休映

★初日の9/25(土)は上映後に
大森立嗣監督と出演者の宇野祥平さん&越川道夫さんによるトークショーあり!

アンコール上映 特別料金: 一般 1,500円、大学・専門学校生 1,200円、シニア・会員 1,000円

★上映初日は吉祥寺バウスシアター、渋谷ユーロスペース共に、抽選で1名様に出演者のサイン入りポスタープレゼント!